

特集

さらなる深化(進化)を遂げる年

より効果的、効率的に施策を深化させ、
岡谷のまちを進化に導く

諏訪湖周クリーンセンターの本格稼動をもって、市民生活の安全・安心を支え、健康で生きがいを持って暮らしていくための6つの重要施策がすべて完了しました。今年度は、その成果をみんなが実感できるよう、整備された施設を十分に機能させ、既存施設との連携も図りながら、まちづくりの推進に生かしていきます。

第4次岡谷市総合計画の後期基本計画も、残すところ2年。「新時代を切り拓くための行財政改革集中期間」が2年目を迎えることから、人口規模や財政規模に調和したまちへと柔軟に進化していく必要があります。将来の岡谷市に夢と希望があふれ、市民一人ひとりがこのまちに住み働くことに、誇りと自信、そして愛着を持つことができるよう、効果的な施策を効率的に実行するとともに、これまで実施してきた施策をいっそう深化させ「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」の実現に力強く向かいます。

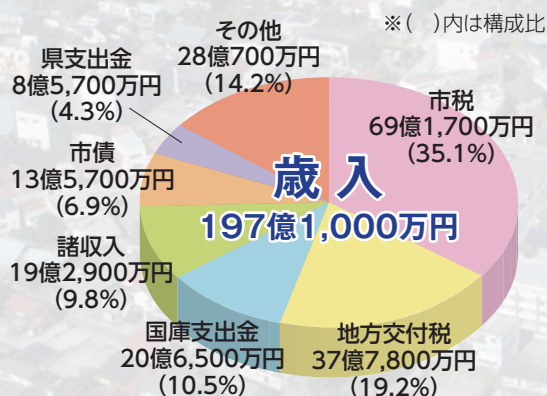
平成29年度予算

◆平成29年度予算一覧 ※前年度比較の△印は、減額を意味します。

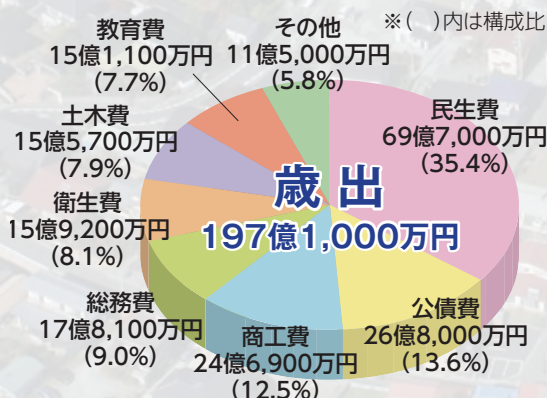
会計名	予算額	前年度比較
一般会計	197億1,000万円	△14億3,800万円
特別会計		
国民健康保険事業	57億1,550万円	△1億610万円
地域開発事業	4億360万円	△1億8,740万円
分収造林事業	1,380万円	△1,320万円
霊園事業	1,770万円	△1,920万円
温泉事業	2,890万円	△820万円
後期高齢者医療事業	7億5,160万円	750万円
計	69億3,110万円	△3億2,660万円
凑財産区一般会計	540万円	0円
企業会計		
水道事業	14億2,187万円	6,584万1千円
下水道事業	30億412万2千円	△5,183万6千円
病院事業	76億5,711万8千円	△5億5,787万5千円
計	120億8,311万円	△5億4,387万円
合計	387億2,961万円	△23億847万円

※企業会計の金額は、収益的支出と資本的支出の合計です。

◆一般会計の歳入(市の収入)



◆一般会計の歳出(市の経費)



おもな事業と予算のあらまし

1 たくましい産業の創造 (後期重点プロジェクト)

諏訪圏6市町村によるSUWAブランド創造事業

3,700万円

岡谷市が代表市として諏訪圏6市町村が一体となり、ものづくり技術の高度化と人材育成を図るため、信州大学や諏訪圏ものづくり推進機構などの関係機関と連携し、小型ロケット製作や、医療機器分野への新規参入に向けた取り組みを行うとともに、大手企業内での展示会を通じて販路開拓を行い、高度技術者の育成と雇用の促進を図る。

商業環境調査事業(新規)

70万円

大型店の開店により市内の商業環境が変化していることから、現状と課題を整理し、今後の商業振興施策の参考とするため、岡谷商工会議所・商業連合会・岡谷TMO・岡谷市と共同で商業環境調査を実施する。

日本絹文化フォーラム負担金(新規)

10万円

シルク文化を通して岡谷の魅力を発信するため、NPO法人シルク文化協会などと協力し、絹を使う立場の人々が全国から集い、情報交換などを行うフォーラムを開催する。

展示会出展事業(拡充)

998万9千円

市内企業の受注開拓と販路拡大を支援するため、幅広い分野の展示会で市がブースを確保、個人企業や中小企業と共同出展し、市内企業が持つ技術力のPRを行い、新たな顧客の確保に努める。今年度は、名古屋での大規模な機械要素技術展を予定。東京、名古屋、大阪の3会場のほか、各種展示会へ、市内企業が出展できるよう支援する。



蚕糸博物館企画展等開催事業

320万8千円

開館3周年を記念して、岡谷市観光大使である市川笑野さんの協力により、歌舞伎の衣裳などを展示し、日本の伝統芸能である歌舞伎とシルクのつながりについて紹介するとともに、西洋のドレスや組紐など、絹をテーマとする企画展を開催する。

また、蚕糸博物館の収蔵資料を展示する収蔵品展を開催し、常設展示とは異なるテーマを切り口に、シルクの魅力、岡谷の歴史伝承、ものづくり岡谷の原点を紹介・発信する。

サポートファーム事業(拡充)

35万5千円

農業の基礎を習得する機会を設け、担い手の育成につなげるとともに、遊休農地の解消と地産地消を推進する。サポートファーム(栽培指導者付き市民農園)事業を行い、「研修農園コース」「体験農園コース」「サポーターコース」の3コースで、未経験者(移住を検討している人も含む)から本格的に取り組みたい人まで幅広く募る。

鳥獣被害軽減対策事業(拡充)

1,078万円

野生鳥獣により農業や林業の被害が増加していることから、防護柵の設置や捕獲機材の整備、緩衝帯整備などに支援を行う。また、鳥獣被害対策実施隊を組織し、二ホンジカを中心とした捕獲を進め、被害の防止を図る。

岡谷リサーチお試し宿泊事業

8万円

都市部からの移住のきっかけづくりとして、首都圏での移住・交流イベントへの参加などを通し、岡谷市に関心を持った人が、市内にお試し宿泊する経費の一部を補助する。



2 輝く子どもの育成 (後期重点プロジェクト)

病児・病後児保育事業(拡充)

873万3千円

病気または病気回復期にある児童を一時的に預かる「病児・病後児保育事業」について、対象年齢(学年)の引き上げを行い、仕事と子育てを両立する環境を整備し、子育て支援の充実を図る。

対象年齢(現行) …生後6か月から小学3年生まで

見直し → 生後6か月から小学6年生まで(ただし市内在住者のみ)



キッズケアルーム のあ

2 輝く子どもの育成 (後期重点プロジェクト)

みんなで食べよう! にこにこ家族事業(新規) 1万2千円

子育て負担の軽減や子どもの健やかな成長を手助けするため、こどものくに(一部はカルチャーセンター調理実習室)で家族が参加できる講座(簡単なおやつづくり)を開催する。

ぼくもわたしも おかやっ子事業(拡充) 41万3千円

岡谷の地域資源を保育に取り入れ、地域文化の伝承と郷土愛を育む。本年度は、食(トウモロコシやうなぎなど)体験事業を引き続き実施するとともに、新たに味噌づくり体験を行い、製造過程を通じて、岡谷の歴史や味噌のよさを理解する。

学力向上推進事業(新規) 12万円

市教育大綱に掲げる学力保障に関して「わかる・できる授業」の実施をするため、学力向上アドバイザーを教育総務課内に配置し、市内小中学校を定期的に巡回。教員に授業や学習指導への助言を行うほか教職員研修会を実施。児童や生徒の学力向上と教員の資質向上を図る。

大学等進学資金利子補給事業

37万8千円

「地方創生に向けた連携協定」を結んでいる諏訪信用金庫の教育ローン借り入れた保護者に対し、利子の一部を補給し、子育て世帯の経済的負担を軽減。さらにUターンを促進するため、卒業後岡谷に戻って居住した場合の利子補給上乗せを実施する。(大学などに進学する際の初年度納付金が対象)



3 安全・安心の伸展 (後期重点プロジェクト)

三十歳の歯科健康診査事業(新規) 23万1千円

生活習慣病に対する歯科疾病の予防の有効性が明らかになっていることから、30歳を対象とした歯科健康診査を行い、歯および口腔内の状況把握と健康増進を図る。

高等学校卒業程度認定試験合格支援事業(新規) 45万円

ひとり親家庭の親や子どもの学び直しを支援する。よりよい条件での就職や転職による自立や生活の安定を図るため、中学校卒業者や高校中退者が、高卒認定をめざして講座を受講し、修了および合格した場合に経費の一部を助成する。

総合福祉センター改修事業(新規) 9,555万8千円

幅広い年代の市民が集い交流する総合福祉センター(諏訪湖ハイツ)について、快適に利用することができるよう施設を改修。本年度は、外壁など改修工事、屋根の塗装工事、東階段の改修工事を行う。

一般介護予防事業(新しい総合事業)(拡充) 5,117万3千円

高齢者が要介護状態に陥ることなく、健康でいきいきとした生活を送ることができるよう、また、既に要介護状態であっても、重度化を防ぐため、各種教室を開催するとともに、地域における住民主体の介護予防活動の育成・支援を行う。

●「ほっとサロン」モデル事業(37万8千円)

高齢者の社会参加・社会的役割の実感、生きがいづくりや介護予防のため、市営加茂団地の集会所を活用し、高齢居住者を対象とした体操教室や茶話会などを行う。また、本年度は、ほかの地区住民などのニーズを把握するなかで、事業化の検討を進める。



わがまち安全・安心LED化事業(拡充) 278万5千円

防犯灯の既存電球のLED化を図り、犯罪のない安全・安心な明るいまちづくりを推進する。本年度は、通学路に設置されている電球型防犯灯を中心に約700灯の電球をLED電球に交換する。また、各区が行う防犯灯の設置経費に対する補助金を見直し、LED化に特化した内容とする。

防犯灯設置補助金→新設、改修等は蛍光灯型LED防犯灯設置に限る。既存電球型防犯灯のLED化(新規)→LED電球を市が購入し通学路を優先して約700灯の電球交換を行う。

空き家対策事業(拡充) 150万円

空き家の利活用および適正管理促進のため、空き家管理活用意向調査を実施し、現状把握と課題分析を行う。空き家対策の総合的指針として、岡谷市空き家対策計画を作成する。各分野の専門団体により構成する空き家対策連絡会を立ち上げ、空き家管理者のニーズに沿った案内を行う。また、不良住宅と判定された老朽危険空き家の解体に対して、その費用の1/2以内で上限20万円まで補助を行う。

防災ガイド作成事業(新規) 203万1千円

防災減災に関する知識を身につけるため、集中豪雨や台風など大雨による洪水や土砂災害の危険区域、地震によって被害を受ける可能性の高い地域、それらの災害時の避難に関する情報を総合的にまとめた冊子を作成する。平成31年度の発刊に向けて、本年度は洪水・土砂災害マップの情報を整理し、地震防災マップデータの作成を行う。



4 そのほか

道水路新設改良事業および維持補修事業(新規)

4億6,475万2千円

道水路新設改良事業は、湊118号線、湊5号線、長地1号線、長地345号線先線など、幅員4m以上の生活道路整備を基本に、道路の新設・拡幅・交差点改良・側溝・水路等排水施設の整備・舗装の改築などを実施し、安全で快適な道路環境を構築する。

維持補修事業は、32号線(湖岸通り線)、11号線(今井通り線)、19号線(鎌倉街道線)などの舗装の打ち替え、側溝補修など、市道の計画的・予防的な維持修繕に取り組む。

文化会館改修事業(新規)

4,000万円

文化振興の拠点施設としての機能維持と運営上の安全確保を図るため、文化会館(カノラホール)小ホールの音響設備および照明負荷設備などの改修工事を行う。

第9回武井武雄記念日本童画大賞事業(新規)

360万円

武井武雄の童画の精神を継承するとともに、次代を担う若手童画家の育成を図るため、「日本童画大賞」を開催し、「童画のまちづくり」を推進する。今回から「童画部門」と「絵本部門」の2部門での募集を行う。



美術考古館 いこう。こよう。大作戦事業(新規)

6万8千円

リニューアル開館から3年が経過した岡谷美術考古館のさらなる活用をめざし、岡谷市社会教育委員の提案をもとに、体験学習スペースの改良や特大パネルの設置による館のPRを実施。観覧後の余韻を楽しむよう、コーヒーなどの提供も行う。

美術考古館特別企画展等開催事業

89万円

質の高い芸術文化作品に触れることができる企画展(7月~11月予定)を開催し、来館者の確保と、まちなかの賑わい創出を図る。本年度は、写真と実物が同時に味わえる滋澤雅人縄文写真展と全国美術展入賞作品展を実施。

図書館やすらぎの森事業(新規)

マンパワー事業

岡谷市民病院に隣接している立地を生かし、館内の闘病記コーナーを刷新するとともに、来院者に対する図書サービスの充実を図る。

市民水泳プール整備事業(新規)

774万9千円

利用者の快適性の向上と利用者の増加を図るため、老朽化したプール競泳用計時全自動装置(公認記録認定に必要)を更新する。

「暮らしの便利帳」作成事業(新規)

マンパワー事業

行政情報や観光、医療、まちの情報など暮らしに密着した情報を発信するため、「岡谷市暮らしの便利帳」を作成する。

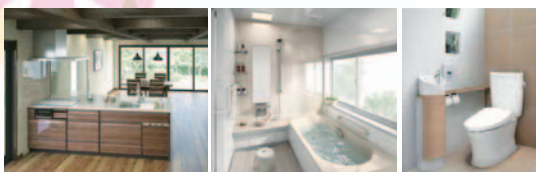
オープンデータ推進事業(新規)

マンパワー事業

住民共有の財産である公共データ(地方公共団体が保有する行政情報)を、ユーザー(市民や民間企業など)が活用しやすいように機械判読に適した形式で公開し、二次利用による地域経済の活性化や市政の透明性を高める。

問合せ●企画課(内線1521)・財政課(内線1531)

住まいの困りごと、リフォームのご相談は
まるごと岡谷酸素へ!



水まわり(キッチン・バス・トイレ)を中心とした、さまざまなリフォームを行っております。お気軽にご相談ください!

岡谷酸素株式会社 岡谷営業所 岡谷市湖畔2-3-7 TEL: 0266-22-4931

広告